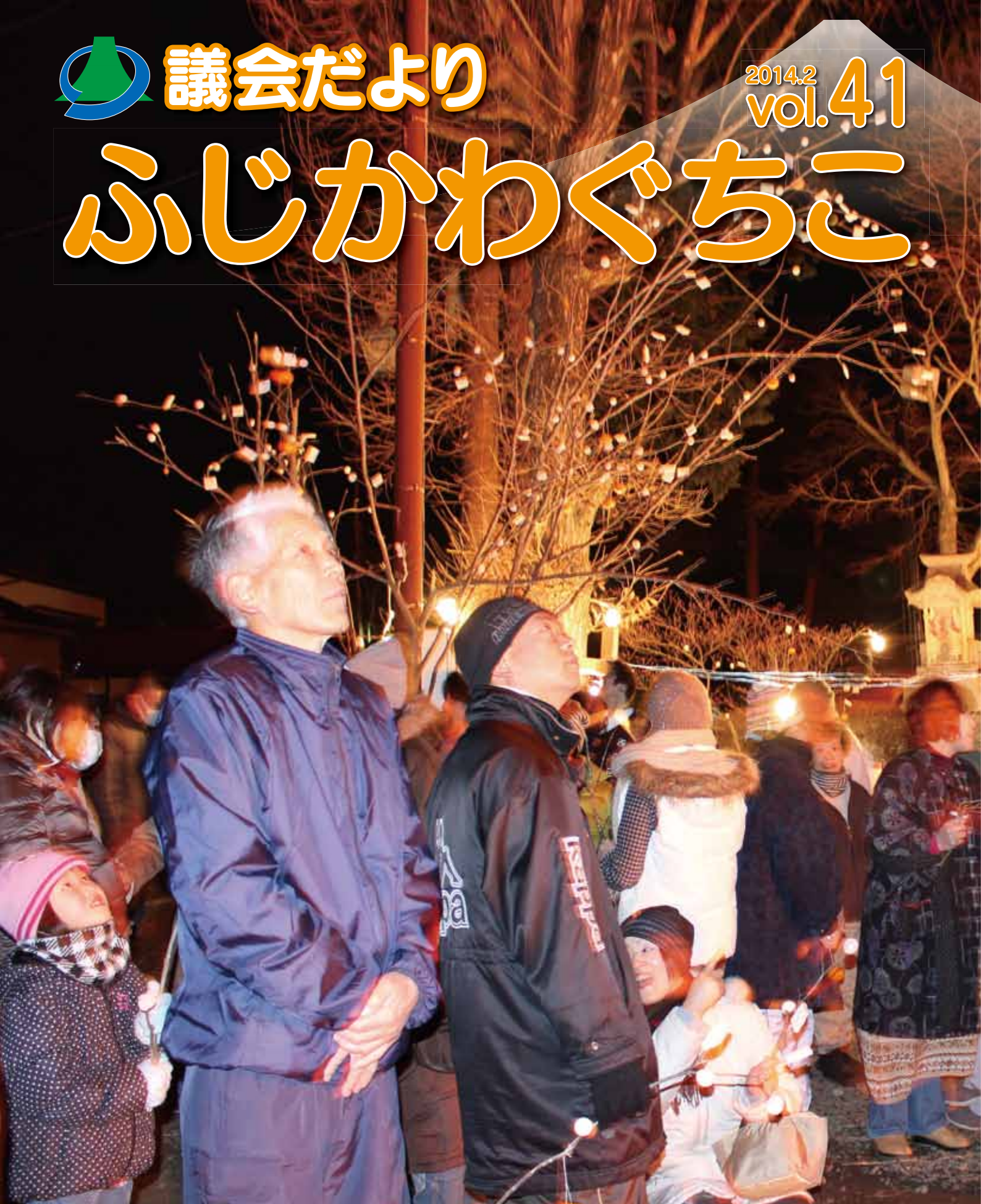




議会だより

2014.2
vol.41

ふじかわぐちこ



西湖区・道祖神祭り

- こういうことをきめました 2P
- 一般質問 4P
- 委員会レポート 10P
- 窓・議会見聞録 16P



平成26年新成人の笑顔

こういうことを
決めました!

●報告(1件)

平成24年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価について

●町有施設の指定管理者の指定(2件)

- ▼富士ヶ嶺バイオセンター
(指定管理者：株式会社 ゼロ) 指定の期間5年間
- ▼道の駅かつやま
(指定管理者：勝山観光協会) 指定の期間3年間

●条例の廃止(1件)及び一部及び全部改正(13件)

- ▼湖南水道事業常任委員会設置条例を廃止する条例の制定について
- ▼富士河口湖町地域審議会条例の一部を改正する条例の制定について
- ▼富士河口湖町税条例の一部を改正する条例の制定について 他10件

●組合同約の変更(1件)

青木が原ごみ処理組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合同約の変更について

●組合の財産処分(1件)

中央市の脱退に伴う青木が原ごみ処理組合の財産処分について

●議員発議(1件)

富士スバルラインのマイカー規制期間の延長に反対する意見書

●鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産 保護組合議会議員選挙

渡辺徳夫 氏 (小立) 渡辺嘉幸 氏 (小立)
流石 壮 氏 (勝山) 倉沢勝寿 氏 (勝山)

●河口湖南中学校組合 議会議員選挙

渡辺徳夫 氏 (小立)

平成25年
第4回定例会

マイカー規制延長に反対

意見書を提出

平成25年第4回(12月)定例会は、10日に開会し、報告1件、指定管理者の指定2件、条例廃止1件、条例一部及び全部改正13件、組合同約の変更1件、組合の財産処分1件、新町建設計画の変更1件、特別会計補正予算9件、一般会計補正予算2件、議員発議1件、同意案件3件、請願1件について審議し可決・承認・採択され、19日に閉会しました。

富士スバルラインのマイカー規制期間の延長に反対する意見書

山梨県は、富士山世界文化遺産登録された本年、富士山の自然保護と交通渋滞を想定し、富士スバルラインのマイカー規制を31日間実施いたしました。その結果、昨年より新たに規制を加えた8月19日以降、登山者が減少いたしました。町の統計によりますと観光シーズンであります本年8月の宿泊数が昨年度を下回っていることでもあります。富士山が世界文化遺産に登録され、だれもが観光客の増加が見込まれることを期待しておりましたが、これは、少なからずマイカー規制が影響していると思われます。当町の基幹産業は観光であり、町の財政基盤を支えております。

特に来年度、新御坂トンネル天井板撤去工事、富士山登山者の入山料徴収などが実施されます。観光立町である当町は相当打撃を受けることは事実であります。ただ単に、富士スバルラインのマイカー規制を実施するだけでなく、富士山の自然保護と交通渋滞解消の方策が他にもいろいろあるはずで、再検討されることを強く要望し、富士スバルラインのマイカー規制期間の延長に反対するものであります。

平成25年12月19日

山梨県知事 横内正明 殿

富士河口湖町議会

●特別会計補正予算(9件)

- ▼平成25年度船津財産区特別会計補正予算(第4号)
- ▼平成25年度勝山財産区特別会計補正予算(第2号)

●一般会計補正予算(2件)

- ▼平成25年度富士河口湖町一般会計補正予算(第10号)
- ▼平成25年度富士河口湖町一般会計補正予算(第11号)

●同意案件(3件)

◆富士河口湖町教育委員会委員任命の同意

流石静雄 氏(勝山)

◆富士河口湖町河口湖治水委員会委員選任の同意

中村照美 氏(船津)	外川秀雄 氏(小立)	大森道定 氏(大石)
梶原宗行 氏(大石)	倉澤 孝 氏(河口)	小佐野仁 氏(勝山)
三浦孝四郎 氏(長浜)	梶原庸男 氏(長浜)	

◆小立財産区管理委員選任の同意

相澤富士雄 氏(小立) 流石源太郎 氏(小立) 山中顕直 氏(小立)



●請願(1件)

◆山梨県に対して「重度心身障害者医療費助成制度」の窓口無料の維持を求める意見書を提出することを求める請願

請願人 重度心身障害者医療費助成制度を守る会 代表 宇藤健司 他3人

紹介議員 井出正広、流石恭史、堀内昭登、山下利夫

内 容 県は、平成26年11月から窓口無料化を廃止し、自動還付方式に変更するとしています。自動還付方式は精神的にも金銭的にも大きな負担となり、実務を担当する市町村や医療機関における新たなシステム構築費や事務費用も増えます。医療費の上昇を抑えるため国が課す窓口無料に対するペナルティを廃止し、「障害者との共生や自立を促す」方針である国や県に対して現行のままの継続を望むものです。

審議結果 賛成多数で採択

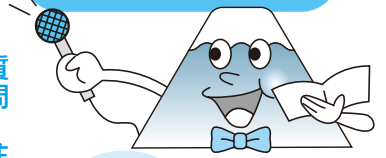
- ▼平成25年度船津財産区特別会計補正予算(第3号)
- ▼平成25年度小立財産区特別会計補正予算(第3号)
- ▼平成25年度富士河口湖町一般会計補正予算(第9号)
- ▼富士河口湖町農業委員会委員 駒谷隆利 氏(河口)
- ▼富士河口湖町地域審議会委員 渡辺武則 氏(西湖西)

平成25年第6回富士河口湖町議会臨時会が11月14日に開会し、特別会計補正予算2件、一般会計補正予算1件が提出され慎重審議の結果、承認可決されました。

第4回臨時会

知りたい!

聞きたい!



平成26年度の予算 編成の基本方針は

質問 住民目線に立脚した福祉・環境・教育分野の具体的な予算をどう組むのか。

町長 めりはりのついた予算とするため、施策の優先順位を洗い直し、むだを徹底して排除しつつ予算の中身を大胆に重点化する事を基本方針とし、重点施策への集中的な財源投入やスクラップ・アンド・ビルドの徹底による歳出構造の見直しをし、現在の課題の解決と将来の不安解消を念頭に予算編成に臨む方針である。

東京オリンピックの事前 練習地の誘致活動は

質問 東京に近く、冷涼な地域の利点を生かした誘致は、世界遺産富士山を世界に発信できる絶好のチャンスでもあり、北麓市町村ともタイアップした誘致活動を強力に進めるべきだと考えるが。

町長 県の誘致推進本部と連携した中で情報収集に努める。

観光面から、またスポーツ振興の面からも誘致に積極的に取り組んでいきたい。

一般質問

リニア新幹線建設に合わせた 新御坂トンネル構想は

質問 リニア新幹線の駅が甲府市の大津町に建設されることが決まったが、当町への直結した道路構想として甲府南インターへ向かったの新御坂トンネルの建設推進は。

町長 近隣市町村とも連携し、建設期成同盟会の設置も含め国・県への要望活動を進めていく。



天下茶屋からの富士山

世界遺産富士山の 保存管理計画の作成は

質問 構成資産及びそれを囲む周辺環境の保存管理報告書を2016年までにユネスコに報告しなければならないが、特に富士北麓の赤松地帯の松くい虫対策を早めに進めなければならないと思うが。

農林課長 標高の高い地帯まで被害が出ていくので、隣接する市町村と連携を密にし、早期発見できるようパトロールの強化と発見後の伐採処理等を進め、赤松の保存を図っていく。



一般質問者
渡辺 喜久男

新年度予算編成の説明を

政策財政課長 地方交付税の段階的減収が迫るなか、重点施策への集中的財源投入やスクラップ・アンド・ビルドの徹底による歳出構造の見直し、現在の課題の解決、将来の不安解消を念頭に今後の国、県の動向を慎重に見極めながら予算編成に臨む予定である。

質問 合併特例債の活用による事業は、多岐にわたり町の重要施策に取り入れていると思うが、今後の特例債を活用する事業は。

政策財政課長 福祉ゾーンに対する投資、各福祉センター、湖南中学校建設、都市再生整備計画に基づく事業等多岐にわたっている。地域振興基金についても並行して計画的に行っていく。

自治会の維持を

質問 災害時に避難の基本となる区、自治会の加入状況は。

総務課長 区、自治会への加入率は低下傾向である。船津地区45・21%、小立地区74・71%、大石地区77・10%、河口地区50・36%、勝山地区65・19%、足和田地区84・09%、上九一色地区94・74%、町全体で59・07%（河口地区には準会員制あり。）富士吉田市73・50%、山中湖村50・00%、忍野村89・00%、西桂町87・50%、鳴沢村55・40%、別荘が多

い山中湖村と鳴沢村での加入率が相当低くなっている。

質問 自治会加入の町民への呼びかけは。

総務課長 広報、ホームページ、転入者には窓口でパンフレットの配布、また自治会加入の手引きを現在作成中である。



福祉ゾーンにある社会福祉協議会

として、配布場所を公共施設以外に金融機関、郵便局、コンビニ等町内32か所に増やして利便性を図っている。

質問 自治会加入促進の苦肉の策としての配布の中止であると理解しているが、生活弱者の取り扱い。

政策財政課長 さまざまな事情のため受け取りが困難な世帯には、従来どおりシルバー人材センターを利用して届けている。

質問 他市町村の広報等の配布方法は。

政策財政課長 他の市町村では、公共施設の窓口におくこと、また有料で送付している。

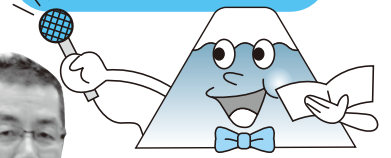
質問 区、自治会の役割と支援に対する考え方は。

総務課長 住民生活に密着した住民団体、行政との深いつながりにより、地域の活性化、安心、安全、防火防災等重要な役割を担い、出会いと交流を通して豊かな地域社会の実現を目指している。また、街灯費、体育協会費、育成会費等は自治会、区に加入している人が拠出して賄われている。



一般質問者
高山 泰治

一般質問



1 老若男女問わず 親切丁寧な対応を

質問 親切窓口対応について総合窓口カウンターを設置してはどうか。

町長 職員の資質向上が重要であり、住民サービスに対する職員の意識改革をさらに促し、常に誠実で謙虚な気持ちを持って業務を遂行すべく全庁に呼びかけたい。

総務課長 総合受付カウンター設置の提案に対し、多様化する自治体業務の中、過去の経過や現在の庁内体制、実施した場合の費用対効果など十分に検討し、早期に結論を見出していきたい。また職員の資質の向上、意識の改善を図り、さらなる取り組みの強化に努めたい。



一般質問者
中野 貴民

2 安心安全な町道を

質問 町道整備について25年程舗装整備が全



崩れかけた町道

一般質問

く行われておらずび割れ盛り上がり、陥没が大変目立つ。

都市整備課長 ご指摘の3路線は長年改修されていなので順次改修していきたい。道路上の穴等に関しては都市整備課に連絡していただきたい。

3 道路維持に対して本年度 日常生活にも必要な新設道路

質問 町道の新設について。入口が狭すぎ有

事の際に緊急車両が入ることが出来ない。

都市整備課長 町道の新設の地域住民からの要望があり、大多数の地権者による用地協力のご理解が得られている路線について、必要性が高いと判断された場合、優先順位を考慮して実施することとしている。

この地域の利便性・安全性が向上すると判断され、検討に入りたい。

4 一頭でも多くの有害鳥獣 の捕獲を

質問 有害鳥獣への対応について。有害鳥獣が船津奥馬込め、富士ヶ嶺地区の民家にまで入り込み木の皮・盆栽・家庭菜園の食物を食べてしまう被害も出ている。

農林課長 来年度に向かい猟友会の増員と若返りを図るため、若い人に狩猟免許の取得を啓発していかねばならない。狩猟免許所得者を増やす方法を検討したい。

地域に有害鳥獣が出ないよう電柵を設置し、餌となる残飯や果樹などを放置しない、家の戸締り等を各家庭でしっかりと行う事が有害鳥獣が近づかない方策だと思う。それでも出た際には地域の人たちが協力し合い、花火やエアガン等で追い払う事が一番効果的であると思うので、地域の皆さんのご理解ご協力をお願いしたい。

湖の環境と水質保全について問う

質問 湖の保全と活用方法について検討されている「明日の富士五湖創造会議」の取り組み状況はどのようになっているか。

政策財政課長 町では4つの湖に関し湖畔の振興計画を立案し、世界文化遺産の構成資産としてふさわしい湖の環境と調和した利用の実現を見据え、湖畔の環境の望ましい姿を検討してきた。各湖の将来像の検討に当たり、それぞれの湖の魅力や課題を官民共同で話し合い進めている。

再質問 湖の水質保全には湖底に堆積している汚泥の課題がある。大規模な事業だが、浚渫（しゅんせつ）により湖底の汚泥を取り除くことが必要であると考えられないか。

政策財政課長 河口湖の現状を把握するため、昨年12月5日に湖底堆積物調査に着手しており、国土交通省と山梨県で研究に関する



一般質問者
三浦 康夫

道路整備を問う

技術検討会を行っているという。再々質問 長浜地区の親水公園について、すでに事業着手したと聞いているが、進捗状況は。

都市整備課長 現在、設計業務の契約が終了しており、この原案をもとに基本設計を策定中である。より良い公園建設のために地元検討委員会等と協議しながら平成26年3月までに詳細設計をする予定である。

質問 御坂トンネル天井版撤去工事が5月26日から約40日間で実施することが報道された。迂回路として若彦路や精進湖線が利用される場合、河

口湖北岸道路に道幅の狭く危険性が懸念される個所がある。扇崎付近の道路拡幅計画について把握していることは。

都市整備課長 平成26年度には工事発注に向けて準備をしており、用地契約は大



扇崎付近

方終了し、現在大石財産区管理地との協議を進行中と聞いている。

再質問 県の事業だが、道路整備され利益を得るのは当町であるため、積極的な働きかけを引き続きお願いしたい。船津・勝山間の合併支援道路は、一部供用開始されるようだが、勝山から長浜にかけての路線の見通しは。

都市整備課長 甲府笛吹富士河口湖富士吉田線期成同盟会の要望箇所にも提出しており、継続的に建設していただけるよう町も要請していきたい。

町長 地元の皆様方とも意見統一をし、私も先頭に立って県に働きかけをしたい。

再々質問 寺崎から扇崎までの間および勝山と長浜間の遊歩道整備の現状はどのようになっているか。

都市整備課長 河口湖を周遊できる歩道、自転車道兼用道路の設置に向け、積極的に陳情していく。

国際交流による活性化を

質問 世界文化遺産登録により外国からも富士山が注目されている。国際交流はこれまで以上に活発になることが期待されるが。

政策財政課長 国際交流に向け官民協同のワークショップを開設し、活発な協議を重ねている。費用対効果などを精査し、平成26年度には具体的な事業を展開していきたい。

○その他の質問 ふるさと納税について

一般質問

知りたい!

聞きたい!



1 介護認定「要支援1・2」の方の現行サービス継続を

質問 介護認定「要支援1」「要支援2」の方の介護サービスのうち、デイサービスとホームヘルプサービスを現行の国の基準にもとづくサービスからはずし、市町村事業に移す方針を国が決めた。国は、これにより約1600億円の経費削減になる、と言っている。ヘルパーなど専門家によるサービスが十分保障されず、利用者の症状の悪化や介護事業所の経営圧迫につながる可能性がある。現行サービスの継続を国に求めるべきだ。

健康増進課長 現在のサービス体系は基本的に変わらない。いまよりも多様なサービスを提供できるようになり、利用者の選択肢も増えると考えている。

2 義務教育費の保護者負担を少しでも軽く

質問 憲法の「義務教育の無償」の規定に関わらず、教育にかかる様々な経費の多くは保護者の自己負担となっている。不安定雇用の増加などにより、保護者の生活が大変になるなかで、子どもたちが家庭の経済状況に関わらず、能力に応じて等しく教育を受けることができるよう、少しでも負担軽減策の充実

一般質問

を。また、就学援助の項目として国が新たに追加した「PTA会費」などを加えるべきだ。

教育長 「義務教育の無償」の理念を常に根底において負担軽減を可能な限り行うことが望ましい。現在、卒業アルバム制作費などの町独自の補助を行っている。就学援助の件は近隣の動向を注視し、財源も含め研究していく。

3 住宅リフォーム助成制度で地元業者の仕事を増やして

質問 住宅や店舗などのリフォーム費用の一部を自治体が補助する「住宅リフォーム助成制度」。いままでの議会で町長は「今年度を



大雨で、水がたまっている場所

4 雨水対策の抜本的強化を

質問 大雨が降ればあちこちに水たまりができ通行が困難になる場所が依然として多い。どこに側溝や浸透ますをつくり、どこに水をもっていくか、地域ごとの現状を把握し抜本的な対策強化を。また、町内の中小業者などに委託して定期的に浸透ますなどの清掃を。

都市整備課長 側溝の場所、水の流れなどについて調査している。今後その結果にもとづき、住民が安全に通行できるよう大型貯留池などの設置も含め、緊急性、費用対効果などの観点から検討し、順次改修工事を行っていく。浸透ますなどの清掃は小規模業者でも可能であり、検討していく。



一般質問者
山下 利夫

生活支援サービス事業は

質問 地域支援事業は29年4月までに新しい総合事業として検討されている。高齢者が日常生活でちよつと困った時、地域で助け合い支え合い、気兼ねなくお願いできる有償ボランティアが必要。

健康増進課長 現状実施している多様な通いの場、訪問介護、給食サービス、見守り安否確認など、多様な生活支援の充実を図る。特に大掃除、窓ふき、枝切り、ごみ出しなどの生活支援は、要支援者が必要とするサービスを把握し、事業内容を検討する。

産後検診に公費負担を

質問 町は妊婦一般検診に1回につき6000円を上限に14回分を公費負担、平成25年4月から不妊治療助成に「ようこそ赤ちゃん事業」、出産育児一時金42万円が支給され、子育て世代の環境整備は進んでいるが、産後検診が実費で1回6000円程度かかり、産後検診の公費負担が望まれる。

町長 町は安心して子どもを産み育てる子育て支援を総合的に検討し進めてきた。産後の対応も保健師や助産師などが新生児のお宅を訪問し、子どもと母親の健康状態を把握し、相談にも応じている。産後検診の公費助成は明確に答弁できない。

河口地区の葦対策は

質問 河口地区は町内では珍しい田園地帯。最近耕作放棄が増え、葦が3メートルも伸び、道幅を狭め、見通しが悪く通学にも影響が出ている。また、冬は枯れるので火事が心配。



河口地区の葦

いじめ防止対策推進法の 制定を受けて

質問 いじめ防止対策推進法が9月28日に施行された。この法は、いじめ防止等の基本理念や対策の基本となる事項を示して、地方公共団体には基本方針の策定に努めるよう求めている。町の取り組みは。

学校教育課長 国が策定したいじめ防止基本方針を参考に県として策定する予定で、県の説明を受けて具体的に検討する。

図書館の更なる魅力アップを

質問 地元企業のPRや住民サービスとして、雑誌の購入代金の全部または一部を負担して、その見返りにスポンサー名の掲示や広告掲載を行う雑誌スポンサー制度の導入に取り組んでみてはどうか。

生涯学習課長 すでにオーナー制度は導入しているが、先進例などを研究し、前向きに検討する。

一般質問



一般質問者
佐藤 安子

委員会 レポート

常任委員会の活動状況を報告します。

企業誘致と雇用の確保

質問 企業誘致等に取り組み財源を確保するための施策は。

町長 雇用を確保するには企業誘致が一番大事であるので、特に力を入れていきたい。前向きに積極的に取り組む。

メガソーラー等の視察

質問 富士ヶ嶺のメガソーラーを視察したが、町全体（他地区）での申請状況は。

政策財政課長 勝山に一基設置済み、大石地区に協議中のものが一カ所、何れも10000㎡未満である。

電気料金の値上がり

質問 電気料の値上げにより補正予算を組んでいるが、LED化等による節電対策の進捗状況は。

政策財政課長 先進地事例を参考に慎重に進める方針、電気メーカーとのヒヤリングも行う予定である。



富士ヶ嶺メガソーラー設置工事中

防災対策

質問 大島での土砂災害もあり河口北岸地帯等が心配である。防災担当の考えは。また避難情報等の出し方は。

総務課長 かつて河口・浅川地区において災害があった。町民が防災意識を持つことも大事であると考えており、自主防災についての呼びかけとPR活動を行っている。また防災訓練等も地元消防団、防災士と連携し対応していきたい。
避難情報は降雨量200ミリを目安に考えている。

巡回バス利用は

質問 「本当に助かる。」「バス停がわからない。」「駅に行かない。」「利用者が少ない。」「という声を聞いているが、バスの利用状況は。

政策財政課長 5月～11月までの累計人数773名、1日に5・2人、1便に1人と費用対効果は極めて低い状況である。よって現況のシステムは廃止し今後は需要等を考え多方面から検討してゆく。

入札に関する件

質問 公共工事の予定価格公表をする考えがあるか。各業種別ランク付けに、県の点数プラス町独自の点数をつけるべきと考えるが、いかがか。

総務課長 予定価格公表は談合防止等の観点から時により必要なので、ある程度見込んだ中での検討をする。ランク付けは県の経営審査を利用しているが、今後考慮しながら町独自の評点を出していきたい。

町税滞納削減アクションプラン

質問 平成25年度も前年同様に向上の見込みはあるか。

税務課長 平成25年度目標はすでに達成したので、新目標を立てた。

観光に関する懸念

質問 新御坂トンネルの改修工事、スバルラインのマイカー規制期間延長による観光への影響をどう考えているのか。

町長 トンネル改修工事は、観光に影響が起きない動きをしたが、安全を考えると県の決

定に従うしかない。マイカー規制期間は町の観光振興に悪影響が起きないように努力するのが私の役目。

合併支援道路の二部開通に伴う庁舎への進入路計画

質問 船津小海線が一部開通したが、その道路から庁舎への進入路計画について進捗状況は。

総務課長 当初の計画から周辺事情が変わったため、再度検討している。乳ヶ崎からの



船津小海線

道路の拡幅も含め関係課と調整し、早目に結論を出していきたい。

行政視察

12月6日に委員会協議会を開催し、富士ヶ嶺地区でのメガソーラー設置予定場所及び建設の進捗状況、本栖湖、精進湖、西湖、河口湖の世界文化遺産銘標の設置予定場所などを現地視察しました。今後の委員会活動に活かしていきます。



湖畔の視察(本栖湖構成資産、案内板設置予定地)

富士高原診療所の 利用状況は

質問 今回100万円の補正予算が計上されたがその利用状況は。

健康増進課長 平成25年4、5月の開設当初は、1か月16人ほどだったが、現在は1か月平均36人が受診している。

芙蓉の湯回数券を

質問 芙蓉の湯や健康プラザの利用者から、利用の多い方にメリットがあるように回数券をつくってほしいという意見があるが。

健康増進課長 皆様がより利用しやすいように検討する。

認知症の早期発見

質問 当町で認知症の方を少しでも早く発見しようという取り組みはされているか。

健康増進課長 65歳以上の方のインフルエンザ予防接種の基本チェックリストのなかに認知症の項目がある。それを活用して保健師による指導を行っている。

学校給食のアレルギー 対策は

学校教育課長 学校では除去食や代替食の対応を行っている。教育委員会では学校給食研究会において、町のアレルギー対応マニュアルを作成した。



勝山小の給食

出張所で罹災証明を

質問 災害時に罹災証明の受付けは各出張所で行えるのか。

住民課長 住民課で受付ける。今後もう一度見直しをはかりたい。

介護慰労金の支給基準 の見直しを

質問 介護慰労金の支給状況は。

福祉推進課長 本年度は22人が手続きされている。平成24年度は23人で、260万円の支出をした。

質問 この予算は600万円だと思うが半分しか支出されていない。1か月の施設利用が5日を越えると支給されない、などの基準を見直すべきでは。

町長 町民への周知徹底がまず基本である。基準の見直しは検討する。

公民館のトイレの 洋式化を

生涯学習課長 足和田地区からも要望がある。洋便器のないところは予算措置をとれるように努力したい。

太陽光発電の誘致を

質問 自然エネルギーの普及のために、景観に配慮しつつ太陽光発電の誘致を積極的に行ってほしい。

環境課長 1000平方メートル以下で景観に問題がないものは積極的に誘致を考えている。最近では町内2か所への設置が進められている。

不法投棄への対応は

質問 不法投棄が依然として目に余る状況であるが、対応は。

環境課長 新年度予算で不法投棄専門の委託料を計上する予定。ただし民有地については、役場では対応できない。

不法投棄防止の啓発を

環境課長 看板の設置、広報などでPRを引き続き行っていきたい。

「福祉ゾーン計画事業」の進捗は

福祉推進課長 検討委員会を今まで3回開催し、主に社会福祉協議会事務所、デイサービスセンターの建て替えを進める方向で協議し

船津保育所の危険個所の対策を

ている。その他の様々な要望も出されている。

質問 船津保育所の配膳のエレベーターが下がつても入口が開いたままで、大変危険である。そのほか、床に穴が空いている場所もあり、改築を検討していく前に保育士のみならず、注意のよびかけをしていただけないか。

福祉推進課長 エレベーターは早急に予算計上したい。改築などにはできないが、危険箇所については、保育士への指導や早急な修繕を行っていきたい。



保育所のエレベーター



河口浅間神社の視察

行政視察

12月5日に委員会協議会を開催し、河口湖南中学校建設現場、船津保育所、河口浅間神社、大石小学校等教育現場を視察しました。教育環境の改善に活かしていきます。

今年の除雪予算及び 除雪体制は

質問 除雪請負業者から除雪単価が厳しいとの意見がある。また、町民からは除雪が遅い
と対応の迅速化を望む声もあるが。

都市整備課長 除雪予算は過去10年間の平均
1500万円とした。12月上旬に除雪請負業
者に対し、今年の除雪について説明会を開い
た。昨年迄は1回の降雪に対し基本的に1回
の出動扱いで支払いしてきたが、今年からは
実質的な出動回数での支払いに変更した。除
雪体制は3業者から除雪作業の撤退の申し出
があったが、既存の近隣業者に協力をお願い
した。

大石小学校通学路の 安全対策は

質問 大石小学校東のT字路（ゼブラゾー
ン）の通学安全対策は。カーブミラーの位置
の見直し、横断歩道の設置、県道の拡幅と歩
道の延長設置を。

都市整備課長 カーブミラーの移設、通学路
横断歩道は保育園の前に設置するよう県にお
願いする。歩道の延長は保育園までは早々に
やる予定だが、それ以後については地元の
方々と協力をし順次行いたいと聞いている。

下水道の普及率アップ と料金バランスを

質問 生活道路であるT字路の利用者、住民
の声は聞いているか。
都市整備課長 事後であるが、大石の地域
振興協議会等を開催し、皆様に説明、報告
をした。



除雪作業のようす

質問 下水道の普及率は68・4%と聞く。つ
ながない家庭が生活排水を川へ流したり、側
溝へ流したりしているがその後の対応は。

水道課長 水洗化率を上げること、
特に北岸について水洗化の普及対策が必要で
ある。住民に対してインパクトのある内容を
チラシ等でお願している。今後もチラシ、
広報、あるいは回覧等により、積極的に接続
して頂けるように進める。

質問 下水道の料金バランスがよくないとい
う声も聞くが今後の対応は。

水道課長 下水道も財政が大変厳しい状況で
ある。下水道ビジョンで先々の下水道料金内
容について検討する。下水道ビジョンを平成
26年向け作成していく。

水道の水質改善について

質問 小立の河口湖畔近くでは夏の間、消毒
のにおいが大変強く飲料水として飲めない、
お米も炊けない状態である。状況把握と対策
を。

水道課長 水道消毒は塩素消毒で実施してい
る。夏場には飲料水を直接飲む機会が多くな
るため、滅菌消毒は気をつけて管理している。
現状を更に確認しながら進めていきたい。

埼玉県羽生市との交流

質問 羽生市と経済交流協定並びに防災協定
が結ばれている。経済交流協定の状況は。

観光課長 富士河口湖町と羽生市は、本年4月22日に羽生市へ町長はじめ議会議員、商工会長、観光協会長等が出向き、観光経済交流協定を締結した。

締結後、河口湖ハーブフェスティバル等への羽生市からの出店、羽生市商工まつりへの参加、過日11月にはゆるキャラサミットでの参加等、多くの交流を実施した。

マラソン、ウォーキング大会での交流等、より活発に交流ができればと考えている。

いやしの里根場の積立金と今後の運営について

質問 道の駅かつやまは12月の定例議会で指定管理者制度を導入することになった。いやしの里根場は第一期オープンして8年目になるが、現在の積立金はいくらか。

観光課長 24年度決算額で基金額1千247万円である。

質問 それなりの積立金がないと指定管理者の受け手はいない。今後の設備投資、修繕費をいかに確保するかがポイント、将来の運営方向についてどう考えるか。

観光課長 形式的だが収支は近年黒字に転じているので、基金の積み立てが増やせるよう入場者数の増員等に努めている。今後の計画は西湖周辺の町営施設、西湖いやしの里根場、コウモリ穴、野鳥の森公園等を総合的にどう運営するかコンサルタントを交え検討してい

る。年内にも基本計画を作成し、地元地区の意見も聞き計画を固めたい。

紅葉まつりの会場設備を問う

質問 紅葉まつりが先月1カ月間行われた。紅葉まつりも県下で指折りのイベントに成長したことは高く評価をしたいが、集客数の増加に対し受け入れ態勢の不備を感じる。駐車場、トイレが非常に少ないが。



西湖いやしの里根場

観光課長 速報の段階だが、総入場者数は昨年23万人に対し約10%増の25万人だった。

富士山世界遺産の登録や、期間中好天に恵まれことで予想外の来客数があり、駐車場不足が露呈した。今後は観光協会、地域住民のさらなるご協力をいただき検討したい。トイレ不足も同様だが仮設トイレの増設等で当面は対応したい。

水道課長 マンホールトイレの設置は可能だが、小学校、中学校に設置したマンホールトイレの工事は1カ所500万円である。県道や河川の横断をする700～800万円から、さらに上物が5基で150万円になる。町長 紅葉まつりのトイレ不足は深刻である。ご提案もふまえ検討したい。

行政視察

12月4日に委員会協議会を開催し、小曲トンネルから白山神社までの道路の現状と、西湖いやしの里根場及び野鳥の森の運営状況を視察しました。



町のゆるキャラ「ふじびょん」

浅間神社を中心としたまちづくり



河口浅間まちづくりの会
中村 太一（河口）

河口浅間まちづくりの会は平成二十一年の国道のバイパス工事完成に伴い、旧国道が町道に移管することとなり、利便性及び景観に配慮した道路に改修をお願いする中で、提案を取りまとめるために河口住民が立ち上げた作業部会です。道路改修事業が終了した2年程前、高橋徳義前会長よりバトンタッチされ現在に至っています。

改修案作成の中で河口地区の歴史的要素を事業に反映させたく、千二百年程前に建立された河口浅間神社、最盛期には百四十軒ほど在った河口御師等の歴史の勉強会も数回行いました。その中で昔より振わなくなってきたお祭りを以前のように小中学生に来てもらうように盛り上げる活動を手始めに、提案だけでなく実際の活動も大切な事なので河川や湖畔の清掃も年に数回行っています。

昨年は河口浅間神社が世界文化遺産の構成資産になり河口住民としてはこの上ない喜びとなりました。祝賀行事に提灯行列等を行い、神社



河口浅間まちづくりの会

を未来永劫守る担い手の小中学生を中心に行事に関わってもらいました。また、神社を始め諸団体の協力を得て盛大に執り行うことができました。今後の活動としては神社周辺だけではなく河口地区全体の景観の提案、史跡等の調査発表、会の拠点造り等を進めたいと思います。最後に町都市整備課、河口財産区の方々にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

議会見聞録

昨年の12月定例議会（一般質問）を初めて傍聴しました。傍聴が終り感じた事は、質問議員は的確かつ具体的に質問をして、趣旨が大変良く分かりやすかったです。

一方答弁者側の町長始めとして幹部職員については明確かつ納得のいく回答で誠実さを感じました。

しかし傍聴席を見回すと私と両脇の2人、合わせて3人だけでした。傍聴席はたくさん有るのに、寂しく誠に残念に思われてなりません。確かに家に居てCATVの放映を見るのも一つの方法ですが、しかし議場ではテレビには映らない議場の雰囲気、質問者以外の議員の様子、また同時に

答弁者を除いた町長、幹部職員の議事に対する反応の様子がつぶさに見取ることができ、臨場感は満点です。

そこで、想いを寄せたことは、住みよい町にするのは行政、議会はもとより最も関心を持たなければならないのは町民ではないだろうかと確信しました。

それには、初歩的ですが町の大切な将来や進むべき方向性を決定する議会、委員会を傍聴したり、行政のやり方に関心をもち、町の現状を少しでも把握して行政、議会、住民が三位一体となり対処しなければならないと思います。その先頭に立つのは議会だと信じています。（船津 外川）

議会を傍聴しませんか 次の定例会は3月です

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。入口には注意事項が掲示されています。

編集後記

寒い日が続いています。が、いかがお過ごしでしょうか。今年最初の議会だよりをお届けします。

今回の議会だよりは、昨年12月議会での論戦を中心とした内容です。新年度予算に町民の皆様のご要望が反映されるように一般質問や委員会質疑が行われました。ぜひお読みいただき、ご意見などをお寄せいただければ幸いです。

今年もよりわかりやすい議会だよりをめざしてがんばってまいります。どうぞよろしく願います。（山下利夫）

●議会広報常任委員会

委員長 高山 泰治
副委員長 山下 利夫
委員 流石 恭史

中野 貴民
渡辺 美雄
佐藤 安子
渡辺 元春
倉沢 鶴義

